平成30年度

アクティブ・ラーニングにつながる小学校国語科指導力向上講座 実施要項

1 目的

「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を質的に改善することを目指し、付けたい力を付けるための授業の在り方について研修を行い、その指導力を高める。

2 期日 平成30年10月1日（月）～10月2日（火）

3 会場 福島県教育センター（福島市瀬上町字五月田16）

4 日程・内容

日	時 間	内 容
1 日 目	9:40～9:50	受付 ※受付場所 第1棟 4階141研修室
	9:50～10:00	開 会 141研修室
	10:00～11:00	協 議 「『主体的・対話的で深い学び』についての相互交流」 ・言語活動の充実を目指した授業の在り方
	11:00～12:00	講 義 「『主体的・対話的で深い学び』を生かす授業づくり」 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
	13:00～16:45	演習・協議 「『主体的・対話的で深い学び』の視点から改善を図る単元構想」 ・単元を貫く「付けたい力」を位置付けた単元構想 ・単元構想シートの作成
	16:45～17:00	諸連絡
2 日 目	8:30～10:30	演習・協議 「『主体的・対話的で深い学び』の視点から改善を図る授業構想」 141研修室 ・付けたい力を付けるための相互交流及び振り返りの在り方 ・単元構想シートを基にした学習指導案（略案）の作成
	10:40～12:00	協 議 「付けたい力を付けることができる授業の構築」 ・作成した単元構想シート及び学習指導案の発表と共有 ・本講座の振り返りとまとめ
	13:00～15:00	講 義 「『主体的・対話的で深い学び』を国語科の授業でどう実現するか」 東京学芸大学 准教授 中村 和弘
	15:00～15:15	閉 会

5 準備物等

(1) 書籍及び資料等

- 「小学校学習指導要領解説 国語編」文部科学省（平成30年2月以降発行予定。入手できない場合、文部科学省のWebサイトよりダウンロードして印刷し持参すること。）
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 国語】」
平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター
- 担当学年の国語教科書

(2) 事前課題

- 事前課題として学習指導案等の事前提出の必要はありません。

・ただし、演習等で扱う教材の選択方法や協議で発表するための授業構想の仕方などの情報を入手するために、8月6日（月）までにEmailを送信する。

（送信先は、下記「8 問い合わせ先(2) 研修内容について」のアドレスとする。）

※Emailを送信する際は、件名を「専門アクティブ国語・小一課題確認」とし、本文に所属校と氏名を入力する。

(3) その他

- 電子データを保存するためのUSBメモリまたはCD-R等
 - ・ウイルスチェック済みで、不要なデータが入っていないもの
- 共済組合員証、上履き、部屋着、洗面用具等
- 食費 1,620円（1泊2日）
（食事単価：朝食320円 昼食390円 夕食520円）

6 留意事項

- (1) やむを得ず欠席・遅刻・早退をするときは、所属長に連絡し、指示を受ける。
- (2) 車で来所する場合は、来所経路・駐車位置について「駐車場案内図」を事前に確認すること。
なお、駐車場に限りがあるため、乗り合わせや公共交通機関の利用に御協力ください。
- (3) 宿泊研修は、原則として全員宿泊とする。なお、詳細は「宿泊棟生活のしおり」を参照すること。
※「駐車場案内図」と「宿泊棟生活のしおり」は、教育センターWebサイトで確認すること。

7 宿泊研修者の夕食の取扱いについて

宿泊研修の食事は全員全食とするが、やむを得ず夕食を必要としない場合は、次のとおりとする。

- (1) 9月25日（火）までに、別紙様式5-1（「平成30年度研修講座案内」P.19参照）により「宿泊研修における夕食の変更届」を作成し、Emailで提出する（期限厳守）。
- (2) 前記(1)の期限後の変更はできない。
- (3) 食事代は、前記(1)に係る不必要夕食分を除いて該当講座の2日目の朝に納入する。

8 問い合わせ先

(1) 欠席等について

福島県教育センター 総合企画チーム
TEL 024-553-3193 FAX 024-554-1588
Email center-kikaku-gr@fcs.ed.jp

(2) 研修内容について

福島県教育センター 教員研修チーム 国語科担当
TEL 024-572-4183 FAX 024-554-1588
Email kyouin-kenshu30-gr@fcs.ed.jp